

事務事業名	市単かんがい排水事業				担当	産業環境部 農政課 農村整備係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			電話番号	0285-83-8143		
施策名	1	農業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市土地改良事業等補助金交付要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和47年度～）		
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1.農業費	6.農地費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	真岡市単独土地改良事業として、国・県補助の対象とならない小規模な農業水利施設等の整備を支援し、農業農村の持続的な発展を図る。 ・市補助率 20%以内							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 25年度実績 補助金の交付事務 土地改良区等が施行する「かんがい排水事業」に要する経費に対し補助金を交付する。 （実施地区） 真岡市土地改良区 ・西郷地区 水路嵩上げ L=114m ・清水地区 水路敷コン L=70m 26年度計画 （実施予定地区） 真岡市土地改良区 ・飯貝地区水路嵩上げ L=150m ・下籬谷地区（真岡市土地改良区）水路敷コン L=140m ・西郷地区（真岡市土地改良区）水路敷コン L=20m	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア	補助金額	千円	380	131	130	130	330
	イ	事業費	千円	1,905	660	650	650	1,650
	ウ エ オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 補助対象先 土地改良区、農業協同組合、市長が適当と認めるもの 補助対象事業 ・水路嵩上げ、水路敷コン、U字溝敷設、樋門改修、その他	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア	事業導入土地改良区	改良区	2	1	1	1	1
	イ	事業導入地区	改良区	3	2	2	2	3
	ウ エ オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・農業水利施設の適正な整備及び、良好な維持保全を図る ・農業水利施設を管理する土地改良区や農家の負担を軽減する	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア	農業用施設の整備延長 用水路	m	78				
	イ	農業用施設の整備延長 用水嵩上げ	m	120	250		114	150
	ウ	農業用施設の整備延長 排水敷コン	m			50	70	160
エ	樋門	基	1		1			
オ	堰	箇所						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・農業生産基盤の基礎づくり	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア	安定供給されている受益面積	ha	4.5	2.7	24.3	1.8	5.0
	イ ウ エ オ							

(2) 総事業費の推移		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	380	131	130	130	
	事業費計(A)	千円	380	131	130	130	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	150	150	150	150
		人件費計(B)	千円	640	636	630	610
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,020	767	760	740	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	老朽化し整備を要する農業用水利施設でも軽微な補修については、国・県補助の対象とならないため、市が独自に支援。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農業用水利施設の整備は、農業生産の基礎づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共性のある農業用水利施設に対する事業であり妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象となる農業水利施設は、要綱で決められているため適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 農業用水の安定供給が図られている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 農業用水の安定供給ができない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助率が決まっているため、削減余地がない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金の支出事務であり、必要最小限の人件費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益面積に応じた負担があり公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							